

1 歳半からの顔・体幹症状と治療後の残存赤みを経て皮膚状態が整った幼児アトピーの経過 (2～3 歳 幼児)

症例 ID : 001-02-UY2 | 記録日 : 2016 年 2 月 10 日 / 2016 年 6 月 29 日

1. 診断・治療前経過

1 歳半頃から首と背中に湿疹が出始め、耳や顔まで赤くなりました。ステロイドを使わない治療を探す中で、複数の医療機関を受診しました。

他院ではアルメタの説明を受けた時期があり、その後、脱ステロイドを掲げる医療機関で超酸性水や軟膏による対応を受けましたが、赤みは腕や腹部へ広がり、浸出を伴う状態となりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	他院でアルメタについて説明を受けましたが、実際の使用量・使用期間は不明です。
製品名	アルメタの説明を受けています。その他は不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	不明です。
来院前／後	来院前にステロイド使用を検討した経緯があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
1 歳半頃	発症	首と背中に湿疹が出始め、耳や顔まで赤くなりました。
来院前	他院受診	ステロイドを使わない治療を探し、超酸性水や軟膏などの対応を受けました。
来院前経過中	症状拡大	赤みが腕や腹部に広がり、ジュクジュクした状態になりました。
松本医院受診後	治療開始	漢方風呂、外用処置、内服を中心に治療を開始しました。
夏頃	改善傾向	一時は完治したと思うほど皮膚状態が整いましたが、秋に脇・肘・膝などへ再燃がありました。
治療後半	内服再開	漢方薬の内服再開後、膝・肘まわりの残った赤みが軽減しました。
3 歳時点	経過後	茶色くくすんだ乾燥部位も整い、アトピー発症前に近い皮膚状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、来院前に赤みが腕や腹部まで広がり、ジュクジュクした状態となった時期です。治療経過中も夏に赤みが強くなる時期がありました。

5. 困りごと

- ・複数の治療情報の中で判断が難しく、家族の不安が大きくなりました。
- ・赤みや浸出が広がり、外用や入浴のたびに症状への対応が必要でした。
- ・治療後半には内服を十分に続けられない時期があり、赤みが残りました。

6. 経過のまとめ

治療開始後、夏頃には一時ほぼきれいな状態となり、秋に脇・肘・膝などへ再燃がみられましたが、強い浸出を伴う状態ではありませんでした。

その後、漢方薬の内服を再開して残っていた赤みやくすみが軽減し、3 歳時点ではアトピー発症前に近い皮膚状態となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。